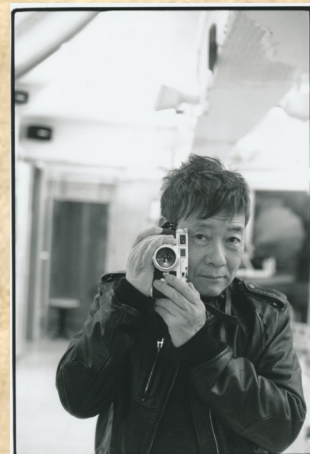


# キャリア塾・葵友会若手会員交流会コラボ企画

「現場に行ってみるとわかる事実がある。」

70年代80年代のイギリスでのパンクロックやニュー・ウェーブ、そこから現代に至るまでの、福山雅治・桑田佳祐、その他日本の有名なアーティストの一瞬を撮り続けてきた写真家ハービー・山口氏。“妥協のない人生”を送っている先輩から私たち後輩に向けて送られるメッセージとは？

※キャリア塾とは在学生在が若手卒業生から仕事について学ぶ取り組みの一つです。当日は在学生の参加も見込まれますので予めご了承ください。



●日時：11月16日（木）18:30～21:00（18:00受付開始）

●会場：アルカディア市ヶ谷

（JR/都営新宿線/東京山手有楽町線・南北線 市ヶ谷駅徒歩5分）

●プログラム：18:30～19:30 講演会

19:30～21:00 懇親会（立食パーティー）

●申込：右記QRコードを読み込み、必要事項  
を入力の上、メールで送信して下さい。

※必要事項は以下の項目です。

氏名・フリガナ・卒年・住所・電話番号・業種

●参加費：1,000円（懇親会費込み）

●締切：11月2日（木）定員100名（先着順）



問合せ先：東京経済大学葵友会（きゅうかい）事務局

Eメール：aoi@tku-kiyu-kai.gr.jp TEL：042-328-8033

# 講演会講師プロフィール

ハービー・山口 写真家 昭和48年卒 経済学部経済学科卒

1950年、東京都出身。中学2年生で写真部に入る。大学卒業後の1973年にロンドンに渡り10年間を過ごす。一時期、劇団に所属し役者をする一方、折からのパンクロックやニューウエーブのムーブメントに遭遇し、デビュー前のボーイ・ジョージとルームシェアをするなど、ロンドンの最もエキサイティングだった時代を体験する。そうした中で撮影された、生きたロンドンの写真が高く評価された。帰国後も福山雅治など、国内アーティストとのコラボレーションをしながら、常に市井の人々にカメラを向け続けている。多くの作品をモノクロームの、スナップ・ポートレートというスタイルで残している。

その優しく清楚な作風を好むファンは多く、「人間の希望を撮りたい」「人が人を好きになる様な写真を撮りたい」というテーマは、中学時代から現在に至るまでふれることなく現在も進行中である。写真発表の傍ら、エッセイ執筆、ラジオ、テレビのパーソナリティー、さらには布袋寅泰のプロジェクト「ギタリズム」では作詞家として参加している。

審査員：CAPA デジタルカメラマガジン APAアワード

選考委員：上野彦馬賞

受賞歴：2011年度日本写真協会賞作家賞

大阪芸術大学客員教授

九州産業大学客員教授

